

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 富谷校			
○保護者評価実施期間	2025年11月17日		～	2025年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年11月17日		～	2025年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の支援に満足していますか。	個別療育という事業所の特性を最大限に生かし、活動内容の工夫はもちろんのこと、お子さま一人ひとりの発達段階や特性、ニーズに応じた支援を提供しております。	今後も、職員間での情報共有やケース検討を継続的に行之、支援の質の向上に努めてまいります。また、お子さま一人ひとりの発達段階や変化を丁寧に捉え、支援内容や方法を柔軟に見直すことで、より適切で効果的な個別支援の充実を図ってまいります。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	お子さまの個別のニーズに応じた支援内容を設定し、具体的な支援方法を明確にしております。支援の進捗を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直しながら、より効果的な支援を提供できるよう引き続き努めて参ります。	今後は、職員間でのケース検討や支援の振り返りをより一層充実させ、お子さまの小さな変化や成長も共有できる体制づくりに努めてまいります。また、評価結果を支援内容に速やかに反映し、個別のニーズに応じた支援の質の向上を図ってまいります。
3	こどもは通所を楽しみにしていますか。	一貫性のある支援を意識しつつ、前回できるようになったことや新たに見えてきた課題を職員間で共有し、次回の支援内容に反映しております。活動内容や課題設定に変化を持たせることで、お子さまが飽きずに意欲的に取り組めるよう工夫しております。	今後も保護者様からのお話を丁寧に伺いながら、アセスメントの内容や日々の支援記録を踏まえて支援計画の精度向上を図り、一人ひとりの状況や変化に即した、より質の高い個別支援が提供できるよう努めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	講演会やママカフェを開催しておりましたが、皆様に情報が十分に周知されておりました。	保護者様へ情報提供を行いながら、広く参加して頂けるよう周知に努めてまいります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	現在は、保護者様からのニーズやお子様一人ひとりの特性・発達段階を踏まえ、無理のない支援を優先しているため、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域の他のこどもたちとの活動は実施しておりません。	今後は、保護者様や利用者様のニーズを丁寧に把握するとともに、お子様の発達段階や特性に配慮しながら、地域との関わりや交流の機会について段階的に検討していく必要があると考えております。そのために、関係機関との情報共有や連携体制の構築を進め、無理のない形で参加できる活動内容や方法の工夫に取り組んでまいります。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	季節の工作課題や避難訓練の実施について、事業所内掲示やブログを通じて周知を行っていましたが、情報の伝達方法や頻度に課題があり、十分に周知できていない状況がございました。	今後は、事業所内掲示やブログに加え、フィードバック時の口頭説明や書面での案内等を組み合わせ、複数の手段で情報を周知していく予定です。また、周知内容や時期を職員間で共有し、伝え漏れが生じない体制づくりを行うことで、利用者様・保護者様に分かりやすく確実な情報提供ができるよう改善に努めて参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」富谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

28

回収数

18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4			・座学の時は視覚も必要な物しくなく、集中できる良い環境だと思います。体操や運動になるとつい立てが倒れないか心配になります。 ・最初は狭いように思ったが、限られたスペースで工夫されているなと思いました。	座学の時間は引き続き集中しやすい環境を維持するとともに、体操や運動の際にはつい立てや備品の安全確認を徹底いたします。また、限られたスペースを有効に活用できるよう、活動配置や動線の工夫を継続してまいります。子どもたちが安心して活動に取り組める環境づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18				・衝動が抑えられないタイプなので急に走り出しても助っ人に来てくれたり対応してくれている。	法令で定められた職員配置数は満たしており、今後も、お子様の発達段階や支援ニーズに応じて、個別支援が十分に行えるよう適切な配置を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1			・トイレが少し遠いと感じております。	商業施設内に事業所があることから距離が生じておりますが、子どもが安心して利用できるよう、安全面や導線の工夫に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				・トイレを済ませてからクラゼミさんへ行くのですが「クラゼミに來たらトイレ」というルーティンが本人の中であるようで、いつもトイレへ連れて行っていただきお手間お掛けして申し訳ないです。	お子様が快適かつ安全に過ごせる環境づくりに努めております。ご不安な点やご質問がございましたら、いつでもご相談ください。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			・本人の要望にも話を聞いてくれている。	職員全員が定期的に発達に関する研修を受けるとともに、専門職員から直接指導を受けるなど、お子様に最適な支援を提供できるよう日々努めております。ご相談やご質問がございましたら、いつでもお声掛けください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					支援内容は定期的に見直しを行い、プログラムの更新や調整に努めております。常にお子様の成長に適した支援を提供できるよう、引き続き取り組んでまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					計画作成にあたっては、お子様の発達段階や特性を把握し、保護者様と話し合いながら支援内容を検討しております。今後も、お子様の成長に適した支援を提供できるよう、引き続き努めてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1				お子さまの個別のニーズに応じた支援内容を設定し、具体的な支援方法を明確にしております。支援の進捗を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直ししながら、より効果的な支援を提供できるよう引き続き努めて参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1			・本人のやりたいことを優先して下さるので、きっと先生が立てた活動が出来ない日もあると思います。	支援の進捗や成果については、職員全員で定期的に確認し、必要に応じて計画を見直ししながら、常に最適な支援の提供に努めております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2			・いつも本人の気持ちを大切にしてくれてありがとうございます。	今後も、お子様の興味や成長に合わせてプログラム内容を柔軟に見直し、楽しみながら成長できる活動を提供してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8		5	5	・今のところは、個人のみしかしていない。	保護者様のご要望に応じて小集団療育を検討するとともに、事業所内では小集団療育やペア療育を実施し、別地域のお子様との交流療育にも取り組んでおります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					契約時には丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を閲覧できるように設置しております。今後も、引き続き丁寧な説明に努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1		1		計画内容は保護者様に丁寧に説明し、共有させていただいております。今後も、お子様の特性や発達段階に合わせて計画の作成・説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	5		日々の支援には保護者様にもご参加いただき、ご家庭での対応方法などについて丁寧に助言を行っております。外部研修会等の資料も掲示し、必要な情報を提供できるよう、今後も引き続き努めてまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	1				フィードバック等を通して、職員と保護者様が定期的に情報共有を行い、お子様の健康や発達の状況について共通理解を図っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3				定期的に面談を実施し、お子様の発達や日々の様子について共有させていただいております。今後も、保護者様と共にお子様の成長を支え、必要なサポートを提供できるよう尽力してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2				引き続き、お子様とご家族様の気持ちやニーズに寄り添いながら、安心して活動に参加できるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	4	12		昨年度より、講演会やママカフェを再開しております。今後も、定期的に開催できるよう、枠組みの整備に努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1			・お忙しい中、保育所まで様子を見に来て頂いたり面談の時間を作って頂きありがとうございます。	保護者様からのご相談やご要望については、職員全体で常時共有を図っております。今後も、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				お子様や保護者様の状況に応じた意思疎通や情報伝達に配慮しております。今後も、合理的配慮の推進に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	5	1	3		HPやブログを活用して、活動の様子や自己評価の結果などを発信しております。皆様にご覧いただけるよう、周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					個人情報に記載された書類は、鍵付きキャビネットにて保管しております。今後も、個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	2		1		事業所内に各マニュアルファイルを提示しております。マニュアルや訓練の報告書など、皆様によりご覧いただけるよう、周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	8		事業所内には、避難訓練の報告ファイルおよび訓練の様子をまとめた資料を提示しております。今後は、より多くの皆さまにご覧いただけるよう、周知方法の工夫に努めてまいります。 また、避難経路等につきましても、保護者の皆さまへ口頭でお伝えし、確認を行いながら安全への理解を深めていただけるよう努めてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18					施設内での安全対策や緊急時の対応手順については、職員全員で共有し、定期的に確認を行っています。 今後も、安全計画等について保護者の皆さまへ分かりやすく周知できるよう努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2		1		事故等が発生した際には、速やかにご連絡を差し上げ、事故の状況や対応について丁寧にご説明しております。また、事故防止委員会や事業所内会議において改善策を検討し、再発防止に向けた取り組みを継続して行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18				・どんな時もクラゼミの先生方はいつも温かく迎えて下さり感謝しております。 ・楽しみすぎて早く「コンコンしたい」というくらい楽しみにしている。	ありがとうございます。引き続き、お子様が安心して過ごせる環境づくりを大切に、日々の活動内容や支援方法について工夫を重ねてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18				・本当はもっと回数を増やしたいのですが仕事の都合や送迎の関係でなかなか予定が合わず残念です。 ・幼稚園は行きたくないというクラゼミは行く！と楽しみにしている。	ありがとうございます。今後もお子様および保護者様のお気持ちに寄り添いながら、楽しく活動に参加していただけるよう療育内容を検討してまいります。また、職員間の申し送りを徹底し、お子様が安心して活動できる環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・3月いっぱいまで通所予定なので、毎回楽しく過ごせたらと思います。 ・本人が楽しみにしていること、先生方との関係も良く、とても満足している。	ありがとうございます。今後も、より良い支援を提供できるよう、支援内容の充実を図るとともに、指導員一人ひとりのスキル向上に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 富谷校			公表日	
					2025 年 2 月 14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令に遵守したスペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で定められた配置基準を満たした体制を整えており、お子さま一人ひとりの発達段階や支援ニーズに応じた個別支援が行えるよう配慮しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		設備等に危険箇所がないか、日々確認を行い、安全な環境の維持に努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃や環境整備を徹底し、利用者様が清潔で心地よく過ごせる環境づくりを心がけております。また、活動内容や発達段階に応じて空間を工夫し、利用者様が安心して活動に参加できる環境を提供しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、静かな時間を必要とされる利用者様には、個別に配慮したスペースを提供し、落ち着いて集中したり、安心してリラックスできるよう環境面での工夫を行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日次・週次で職員が参加するミーティングやケア会議を実施し、利用者様一人ひとりの様子や支援状況について教室全体で情報共有を行っております。共通理解のもとで目標設定や振り返りを行い、より適切で継続性のある支援につなげられるよう努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ定期的に事業所評価アンケートを実施し、日々の支援や運営に関するご意見を業務改善に繋げております。いただいたご意見やご要望につきましては、職員全体で共有・検討を行い、支援内容の見直しやサービスの質の向上に活かして参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に職員ミーティングを開催し、現場での課題や改善点について意見交換を行っております。そこで出された意見や提案を大切にしながら、業務内容の見直しや改善を進め、利用者様がより安心して過ごせる環境づくりに反映させて参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、利用者様および同法人内の他事業所による二者評価を実施し、サービスの質の確認と改善に努めております。いただいた評価やご意見をもとに、支援内容や運営面の見直しを行っております。	なお、第三者による外部評価につきましては、現時点では実施の予定はございませんが、今後の検討課題としてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全職員が受講できる法人主催の定例研修を毎月開催し、支援に必要な知識や技術の向上を図っております。また、新入社員に対しては初任者研修を実施し、支援の基本や事業所の方針を理解したうえで業務にあたれるよう体制を整えております。今後も、利用者様により良い支援を提供できるよう、職員一人ひとりの資質向上に努めて参ります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成しており、HPにて公表しております。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		契約時および計画期間ごとに、保護者様よりアセスメントを実施したうえで個別支援計画を作成しております。一人ひとりの発達状況や特性、個別のニーズを丁寧に把握し、それに基づいた最適な支援計画を策定することで、より効果的な支援が行えるよう努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画作成にあたっては、定期的に支援計画作成のための会議を開催し、職員間でお子さまの状況や支援の進捗について情報共有を行っております。共通理解を深めながら、一人ひとりの個別のニーズや目標に基づいた支援内容を丁寧に検討し、より適切で一貫性のある支援の提供に努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画作成後は、職員全員が計画内容を確認し、支援目標や支援方法について共通理解を持ったうえで支援にあたっております。支援の実施後は、目標の達成状況やお子さまの変化を定期的に振り返り、必要に応じて計画の見直しを行いながら、常に最適な支援を提供できるよう努めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時および計画更新ごとに、統一したアセスメントシートを使用してお子さまの状況やニーズを丁寧に把握し、個別支援計画を作成しております。あわせて、個別支援計画に基づいた評価内容や日々の行動・様子を記録し、全職員がいつでも確認できる体制を整えることで、支援の一貫性と質の向上に努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さま一人ひとりの個別の課題やニーズに応じた支援内容を設定し、具体的な支援方法や関わり方を明確にしております。支援目標の達成状況については定期的に評価・振り返りを行い、その結果をもとに必要なに応じて支援計画の見直しを行うことで、より効果的にお子さまの成長に寄り添った支援を提供できるよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケース会議等を定期的に実施し、お子さま一人ひとりの課題やニーズについて職員間で情報共有を行っております。支援の方向性や関わり方について意見交換や議論を重ねながら、チーム全体で共通理解を深め、より適切で効果的な支援プログラムの立案に努めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子さま一人ひとりの特性や成長の状況に合わせて、プログラム内容を柔軟に見直しながら支援を行っております。また、お子さまが無理なく、楽しみながら活動に参加できるよう、興味・関心に合わせた内容の工夫を行い、意欲的に取り組める環境づくりに努めております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			お子様一人ひとりの状況および保護者様のニーズに応じて個別支援計画を策定しております。また、保護者様のご希望や支援目標に応じて、小集団療育やペア療育を実施しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を実施し、職員間での情報共有を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を実施し、職員間での情報共有を行っております。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回の支援終了後に指導記録を作成し、お子さまの様子や取り組みの成果、課題等を記録しております。これらの記録をもとに、お子さまの成長や状況の変化に応じて支援内容を振り返り、必要に応じた見直しを行いながら、より適切な支援の提供に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも6か月に1回以上、保護者様との面談を実施し、お子さまの成長や支援の状況について確認したうえでモニタリングを行っております。その結果をもとに、支援内容や目標について見直しの必要性を丁寧に検討し、より適切な支援につなげております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が会議等に出席し、支援内容や方針について確認・調整を行っております。また、必要に応じて担当指導員も出席し、利用者様の状況や支援の経過について具体的な情報共有を行いながら、適切な支援につなげております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者様一人ひとりのニーズに応じて、医療的なサポートや福祉サービスを必要なタイミングで提供できるよう、関係機関と連携を図りながら情報共有を行っております。確認した情報を支援に反映し、より適切で切れ目のない支援につなげられるよう努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や移行に向けた支援に関して、関係機関との会議や訪問を通じて情報共有を行い、相互理解を深めながら連携に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者様のご要望に応じて情報提供書の作成を行っております。支援内容や日々の活動状況について、関係機関等へ適切に情報提供を行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		外部研修や法人内研修等に積極的に参加させていただき、支援に必要な知識や技術の向上に努めております。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	現在、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもたちとの積極的な活動機会は設けておりません。	事業所内において小集団療育やペア療育を実施し、別地域のお子様との交流を通して、社会性やコミュニケーション力の育成に取り組んでおります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後にはフィードバックの時間を設け、利用者様の様子や取り組みについて保護者様へ丁寧にお伝えできるよう努めております。また、ご要望に応じてお電話等による情報交換も行い、継続的で細やかな連携を図っております。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者様向けの講演会や研修を再開し、子育てや支援に関する理解を深めていただける機会を設けております。また、他法人が開催する保護者様向けの研修や、利用者様が参加できるイベント等についても情報提供を行い、必要な支援やつながりにつなげられるよう努めております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には、重要事項説明書の内容について丁寧にご説明するとともに、事業所内においていつでも閲覧できるよう設置しております。また、支援プログラムについては、支援後のフィードバック等を通して分かりやすくお伝えし、保護者様にご理解いただけるよう努めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		成長やニーズに応じた支援が行えるよう、利用者様および保護者様の意向を反映した支援計画を作成しております。利用者様の意思を尊重し、一人ひとりの状況に応じた柔軟で適切な支援が提供できるよう努めております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容や具体的な目標について丁寧に説明したうえで、保護者様から同意をいただいております。計画に関して疑問点やご要望がある場合には、その場でお話を伺い、必要に応じて内容の修正や調整を行いながら、納得のいく支援計画となるよう努めております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			支援後のフィードバックの時間を活用し、ご家族様からのご相談に随時対応しております。また、ご要望に応じて子育てに関する悩み等についての相談や面談を実施し、必要に応じた助言や支援を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会や保護者会等の活動の一環として「講演会」や「ママカフェ」を開催・実施しております。	周知する際にイベント名や内容を広くお伝えしておりました。父母の会や保護者会等の活動の一環として行っている事を改めて確認し、今後もより多くの方へ知って頂けるようにしてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		フィードバック等を通して保護者様からいただいたご質問やご相談については、速やかに管理者へ報告する体制を整えております。内容に応じて関係職員間で情報共有を行い、迅速かつ適切な対応ができるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にブログを活用し、活動の様子や季節の制作物の写真等を発信しております。利用者様の日々の取り組みが伝わるよう配慮しながら、事業所の取り組みや雰囲気を分かりやすくお伝えするよう努めております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類については、鍵付きキャビネットにて厳重に保管しております。また、個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定するなど、情報管理に十分配慮した対応を行っております。今後も、個人情報の適切な取り扱いと管理の徹底に努めて参ります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様および保護者様一人ひとりの状況や理解度に応じて、意思疎通や情報伝達の方法に配慮しております。分かりやすい説明や丁寧な対応を心がけ、安心してご相談いただける関係づくりに努めております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、地域住民を招いての行事の定期開催は行っておりませんが、地域の市民センターで開催されている「子育て支援ネットワーク」の定例会に参加させていただいております。今後も、地域団体や自治会との連携を深めながら、事業所の存在や活動について地域住民の皆様へ認知していただけるよう努めて参ります。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、職員への研修や訓練を定期的実施しております。また、マニュアルについては保護者様にもご覧いただけるよう、事業所内に設置し、内容の周知に努めております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各種マニュアルを策定し、避難訓練を定期的実施しております。訓練の内容や結果についてまとめた報告書は、保護者様にもご覧いただけるよう事業所内に設置し、安全対策への理解と周知に努めております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用者様の安全を最優先に考え、医療面での配慮が必要な場合には、保護者様と連携しながら必要な情報を共有しております。緊急時にも迅速かつ適切な対応が行えるよう、日頃から体制づくりと準備に努めております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用者様のアレルギーの有無を事前に確認し、支援時に該当する物質との接触が起こらないよう十分に配慮しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者が安全に過ごせる環境を提供するため、安全計画を策定し、定期的な研修や訓練を実施しております。職員は、緊急時の対応や事故防止に関する知識・意識を高めながら、日々の支援において必要な安全管理の措置を講じております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を策定し、保護者の皆様にもご確認いただけるよう、事業所内に設置しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリ・ハット事例が発生した際には、職員間で再発防止に向けた対策会議を実施し、その内容を記録として残しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を定期的実施し、職員全員が必要な知識と理解を十分に身につけられるよう努めております。また、虐待防止に関する方針および手順を明確化し、職員が常に適切かつ迅速に対応できる体制を整えております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束がやむを得ず必要となる場合には、その理由および具体的な対応方法について、事前に保護者様へ十分な説明を行っております。また、身体拘束の取り扱いや実施基準について明確にし、必要に応じて個別支援計画等へ記載しております。	